

長畝ふるさと通信

【2011年2月号】

■ まったく田んぼに行きませんでした。

1月、2月とずっと雪に覆われている田んぼは記憶にないほどです。田んぼ道は除雪車も通らず、まったく田んぼに行きませんでした。ここにきてようやく雪が消えてはきましたが、「春が待ち遠しい・・・」



軒下のつららにもビックリした今年の冬景色でした。

■ 営業活動してました。 2月は東京や新潟で営業活動をしていました。

① 2月2～3日 世界の「東芝」本社で佐渡物産展に参加しました。東芝さんには社員が全国に4万人もいらっしゃるそうで、この度、社内通販に長畝の朱鷺と暮らす郷コシヒカリを取り扱っていただけることになりました。その一貫として本社社員売店で佐渡物産展を開かせていただいた



東芝本社ビルです。

わけです。港区芝浦の本社ビルには毎日1万人もの人が往来するとか。こんなでかいビルまるごと1件、ゼーンぶ東芝ですから驚きです。準備していったお米はあっという間に完売、うれしい限りです。



すぐ近くに東京タワーが綺麗に見えました。

② 2月6日 錦糸町・すみだ産業会館で開かれた、日米連主催の「お米マイスター全国ネットワーク会議」の会場で開催された商談会に参加しました。約30の米産地やJA・関連業者などが集まり、それぞれが熱心にお米さんと商談を展開していました。この会議はどちらかというところ「こだわり米」を取り扱う米屋さんの集まりで、すでに24年産を視野に入れた商談がおこなわれます。全体的に米余り現象が続く中、産地も流通も相当な危機感をもっていると感じました。おかげさまで当組合のお米も22年産はほぼ完売です。この1週間の間に東京タワーと東京スカイツリーを間近で見ました。新旧交代を象徴する風景ですね。



③ 2月16日 新潟の月岡温泉のホテルに商談に行きました。新潟では一番高いとされる高級ホテルです。土産物を置いてある売店コーナーには「魚沼米」や「岩船米」などライバル産地の米がすでに並んでいましたが、女将さんは二つ返事で快諾してくれました。全国の富裕層の目にとまるといいなあ。

■ ご了承願います。

先にご案内しましたが、22年産米につきましては夏の酷暑の影響で1等米がほとんどとれませんでした。これまで会員の皆様には数少ない1等米をお送りしてきましたが、今月分をもちましてその在庫も底をついてしまいました。誠に申し訳ございませんが、来月からお送りするお米は「2等米」で対応させていただきますので、ご了承願います。価格については9,700円とさせていただきます。なお、食味への影響はほとんどないと確信しております。なぜなら私たちは2等米しか食べていませんから…。

■ いよいよ春本番を迎えます！

種もみの温湯消毒作業もようやく終了し、いよいよ23年産のお米づくりが本格的に始動します。3月になって春の陽気がポカポカしてくれば、百姓はみんな田んぼへ出かけます。

今年こそは「もっとおいしいお米を」と願って畔を歩きます。トキも今年はヒナをかえしてくれるでしょうか。ご期待下さい。

■ 10kgのオリジナル袋をつくりました。玄米の10kg小分けの際に使いますので、遠慮無くお申し付け下さい。

